

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	日々の生活の中で、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握を継続し支援していく必要がある。	利用者視点に立ち、個々の思いや意向を汲み取ったことを一つ目標に掲げ、それに向けて具体的に取り組んでいく。	①お正月の書き初め、七夕の願い事、暮らしの中のつづやき等の中から一人一人目標をくみとりまとめる②一つの目標に向けて具体的な支援策を話し合う③月1回の部署会で達成状況を話し合う④目標達成に向けた支援の中から課題を拾い出し対策を実施する	12ヶ月
2	2	地域交流を継続するとともに、専門性を活かした地域貢献に取り組んでいく必要がある。	地域住民との交流、小学生との交流を通して認知症を考えるきっかけづくりと認知症の理解者を増やしていくよう取り組む。	①ボランティアの受け入れ、小学生との交流を通して触れ合う機会をもち認知症の理解へと繋げていく②専門学校実習生の受け入れを通して、現場の中で認知症を考える機会となるよう取り組む③地域住民に働きかけ、認知症紙芝居を通して認知症の理解者を増やしていく	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。